セキスイ　メッシュフェンスM0（エム ゼロ）

取扱説明書　C0000

このたびは セキスイ メッシュフェンスＭ０（エムゼロ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
末永く安全にご使用いただくために、『安全上のご注意』をよくお読みいただき、正しくお使いください。
　※施工業者の方へ：商品の施工前に必ず本取扱説明書と設計図面をよくお読みいただき、正しく施工ください。
　　　　　　　　　　施工完了後、この取扱説明書を施主様にお渡しください。
　※ユーザー様へ　：本取扱説明書をよくお読みいただき、大切に保管してください。

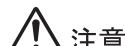
■ 安全上のご注意

本製品は一般的な境界フェンスです。他の目的や用途には使用しないでください。

ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ずお守りください。
◆ 表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的傷害が想定される内容を示します。

1　設置上のご注意

⚠警告
- ■ 設置場所の環境（土質・積雪状況・突風・強風・公害・塩害・水害等）を十分調査の上、製品仕様をご決定ください。
- ■ 屋上、高地、風の強い特殊な地域などでのご使用にあたりましては、弊社までお問い合わせください。
  事故につながるおそれがありますので、標準仕様フェンスでのご使用はお避けください。
- ■ 標準仕様フェンスに他の付属物（看板・目隠し板・防砂板・防風ネット・つた等）は取り付けないでください。
  他の付属物を取り付ける必要がある場合はご要望に応じて別途、特別仕様設計をいたします。弊社までご相談ください。
- ■ 海岸地帯や重工業地帯などの過酷な条件下でのご使用にあたりましては、塩害などによる品質問題が生じる場合がありますので、
  弊社までお問い合わせください。
- ■ 積雪地帯でのご使用にあたりましては、積雪荷重による製品の変形などがおこる場合がありますので、必ず弊社までお問い合わせください。
- ■ 防護柵（横断防止柵・転落防止柵）・球技場用フェンス等にご使用される場合は、強度的に特別仕様設計が必要になりますので、
  必ず弊社までお問い合わせください。
- ■ 構造物（建屋等）に設置される場合、当該構造物の強度については弊社は責任を持ちません。
  （構造物（建屋）の強度不足から思わぬ事故につながることもございますので、十分ご注意ください。）
- ■ 実際の設計や施工にあたっては事前に十分調査の上、設置場所に応じた基礎を選定してください。設計・施工前の十分な事前調査や設置場所に
  応じた適切な基礎の設置をしなかった場合、思わぬ事故につながることがあります。
- ■ 基礎の形状や大きさは、設置場所の土質・地形・設置場所付近の構造物等により決定してください。
- ■ 軟弱地盤による地盤の沈下については、十分考慮してください。

⚠注意
- ■ 使用環境により品質劣化が進みやすくなりますので、十分ご注意ください。
- ■ 腐食性ガスや海水、あるいは砂塵にさらされるような環境では、短期間のうちに使用に耐えない状態になることがあります。

2　施工上のご注意

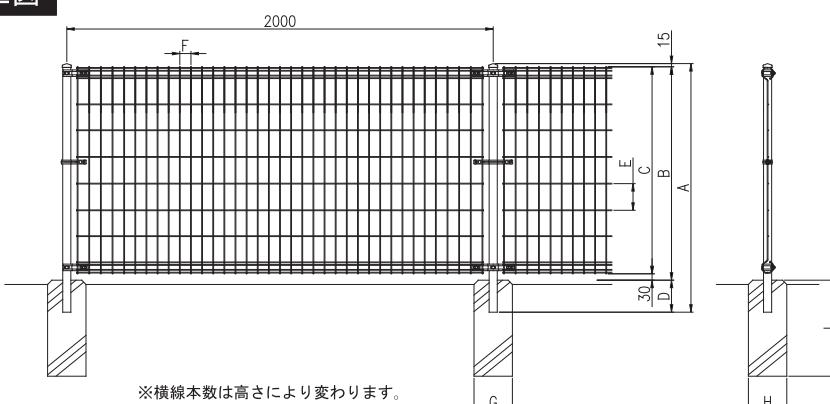
⚠警告
- ■ ボルト・ナット等の締め付け金具は十分な締め付けを行ってください。不十分な場合は、思わぬ事故につながることがあります。
- ■ みだりに改造・変更等をしないでください。
- ■ モルタルやコンクリートの抽出液が工事中に製品の表面を流れないように注意してください。しみやむら等の外観不良や腐食の原因となります。
- ■ 施工時に製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食の原因になりますので、
  取り扱いには十分ご注意ください。
- ■ 腐食の恐れのある接着剤や化学製品を施工上使用する場合は、製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ■ 仕上げにモルタルを使用される際、海砂は塩分が多量に含まれており腐食の原因になりますので、その使用は避けてください。

3　使用上のご注意

⚠警告
- ■ 標準仕様フェンスに乗ったり、寄りかかったり、揺すったり、ボール等をぶつけるような行為は事故につながるおそれがありますので、
  お避けください。
- ■ 製品付近で火気及び高温物・高熱源の器具等をご使用にならないでください。変形の原因になります。

⚠注意
- ■ あやまってキズをつけた場合、補修塗料で補修してください。放置すると腐食の原因になります。
- ■ 長年ご使用いただくと、ボルトやネジ類がゆるむことがありますので、定期的に締め直してください。
- ■ フェンス本体を切断した場合には、必ず保護キャップ（別売品）を取り付けてください。ケガをするおそれがあります。
- ■ お手入れは中性洗剤を使用してください。シンナー・ベンジン等の石油系溶剤は絶対にご使用にならないでください。
  その他、弊社のフェンス製品に関しまして、ご不明な点がございましたら、各地区の弊社営業担当者が対応させていただきますので、
  何なりとお問い合せ、お申し付けいただきますようお願いいたします。

施工図

※横線本数は高さにより変わります。

<施工にあたりまして次の工具をご準備ください>
- スパナ　（対面幅 12 用）
- ボルトクリッパー
- 水準器
- 水糸

規格・寸法表　（単位：mm）

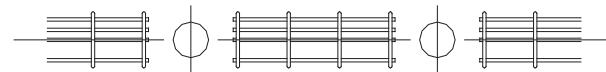
品番	柱全長 A	高さ B	本体高さ C	埋込深さ D	メッシュパネル E×F	参考基礎寸法 G×H×I
# 600	765	600	570	150	125×52	180×180×450
# 800	965	800	770	150	115×52	180×180×450
# 900	1065	900	870	150	130×52	180×180×450
#1000	1165	1000	970	150	125×52	180×180×450
#1200	1365	1200	1170	150	125×52	180×180×450
#1500	1765	1500	1470	250	125×52	180×180×450
#1800	2115	1800	1770	300	125×52	180×180×450

SJC 積水樹脂株式会社

施工要領

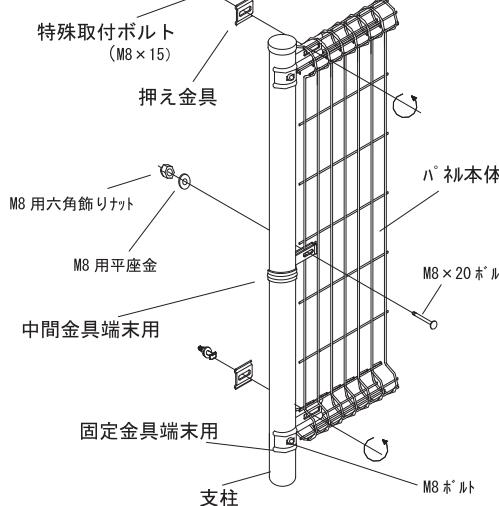
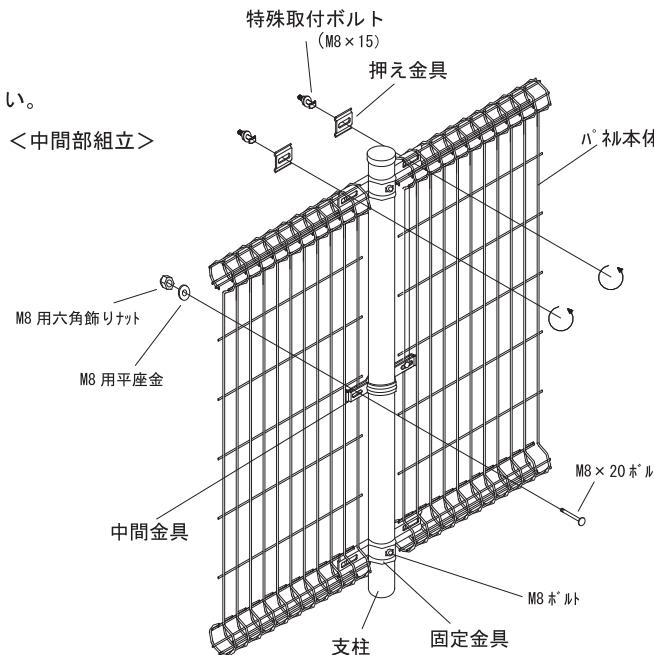
割り付け

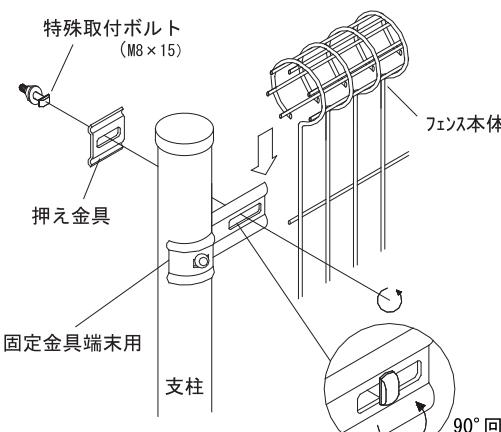
- 標準支柱間隔は 2000mm です。支柱間隔が 2010mm を超える場合は施工できません。
  支柱間隔が 1990mm 未満の場合は、支柱間隔に合わせてフェンス本体を切断してください。
  フェンス本体切断部分には必ず保護キャップ（別売品）を取り付けてください。
- 支柱の穴方向は、フェンス本体の延長方向に対して直角となるように施工してください。
- 標準の支柱金具は 180°用です。これ以外の角度はコーナー金具をご使用ください。

<標準部施工>

※ 穴方向はフェンス本体の延長方向に対して直角となるように施工してください。

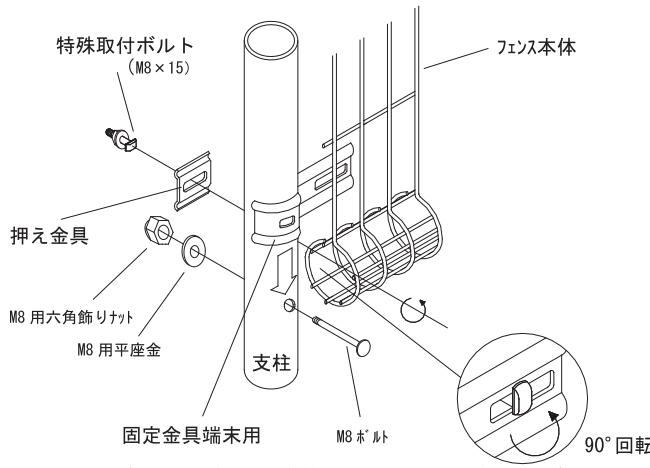
組立方

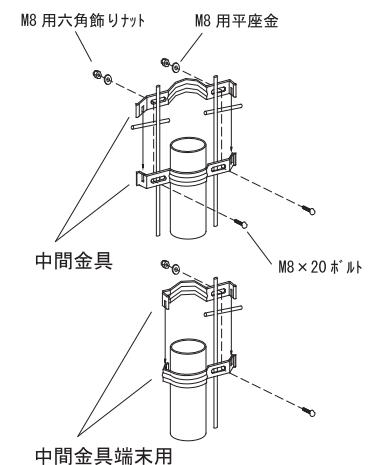
- 支柱を標準間隔 2000mm で立ててください。
- 支柱上部に固定金具（固定金具端末用）を取り付け、固定金具（固定金具端末用）にフェンス本体を落とし込みます。
  フェンス本体を仮置きしてから、下部の固定金具（固定金具端末用）を取り付けてください。
- フェンス本体と支柱の隙間が左右均等となるよう調整してください。
- 押え金具と特殊取付ボルトでフェンス本体を固定してください。
- 中間金具（中間金具端末用）を取り付けてください。
- 全てのボルト、ナットを完全に締め付けてください。
- 組立が終わりましたら、水平通りを正してモルタル詰めを行ってください。

<端末部組立>

<中間部組立>

① 上部の固定金具（固定金具端末用）の取り付け

1. 支柱に固定金具（固定金具端末用）を取り付けてください。
2. フェンス本体を上から固定金具（固定金具端末用）に落とし込んでください。
3. 押え金具と特殊取付ボルトでフェンス本体を固定してください。

特殊取付ボルトに平座金と六角飾りナットを予め仮締めし、ボルトの頭を押え金具と固定金具（固定金具端末用）に貫通させます。 ボルトを90°回転させた後、六角飾りナットを完全に締め付けてください。

② 下部の固定金具（固定金具端末用）の取り付け

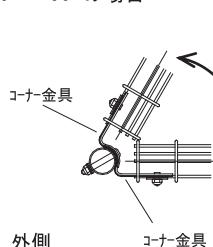
1. 固定金具（固定金具端末用）をフェンス本体に落とし込んでください。
2. 固定金具（固定金具端末用）を支柱に取り付けてください。
3. 押え金具と特殊取付ボルトでフェンス本体を固定してください。

特殊取付ボルトに平座金と六角飾りナットを予め仮締めし、ボルトの頭を押え金具と固定金具（固定金具端末用）に貫通させます。 ボルトを90°回転させた後、六角飾りナットを完全に締め付けてください。

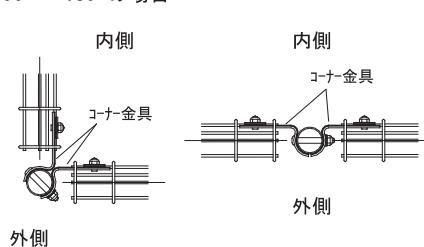
③ 中間金具、中間金具端末用の取り付け

中間柱となる支柱には中間金具を、端末柱となる支柱には中間金具端末用を取り付けてください。 #800～#1500は支柱１本につき１ヶ所、#1800は支柱１本につき３ヶ所取り付けてください。（#600には使用しません。）

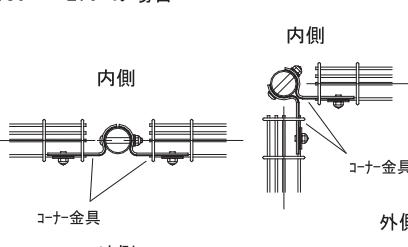
コーナー部

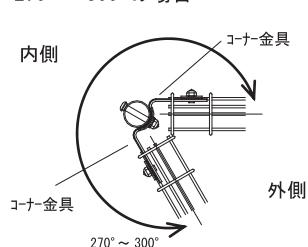
- コーナー柱となる支柱にコーナー金具を取り付け、上記の組立方にそって組み立ててください。
- コーナーの対応角度は 60°～ 300° です。
- コーナー柱となる支柱に中間金具端末用を取り付けてください。#800～#1500は支柱１本につき１ヶ所、#1800は支柱１本につき３ヶ所取り付けてください。(#600には使用しません。)

<コーナー部施工>

60°～ 90°の場合

コーナー柱となる支柱の穴方向は、コーナーの２等分方向となるよう施工してください。

90°～ 180°の場合

コーナー柱となる支柱の穴方向は、コーナーの２等分方向に対して直角となるよう施工してください。

180°～ 270°の場合

コーナー柱となる支柱の穴方向は、コーナーの２等分方向に対して直角となるよう施工してください。

270°～ 300°の場合

コーナー柱となる支柱の穴方向は、コーナーの２等分方向となるよう施工してください。

ご確認下さい

- ボルト・ナットの締め付けを確認してください。
- 施工時の汚れ、モルタルの付着があればきれいに拭き取ってください。
- 施工時の傷、塗膜のはがれはタッチアップ塗料（市販品又は、当社で別途用意してあるもの）で、きれいに仕上げてください。